

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 493 号	氏名	田代 将人
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	大園 恵幸	
	副 査	川上 純	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、播種性カンジダ症の新規治療法開発のため、プラバスタチンの抗カンジダ薬理作用を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p><i>Candida albicans</i> に対する増殖抑制効果、ファルネソール産生阻害効果等を <i>ex vivo</i> の系で評価し、さらに播種性カンジダ症マウスモデルを用いて、<i>in vivo</i> におけるプラバスタチンの薬理効果を評価し、適切な統計学的解析法で評価したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、プラバスタチンに <i>Candida albicans</i> 増殖抑制効果があること、フルコナゾールとの相乗効果があること、最小阻止濃度以下でもファルネソール産生阻害効果があることを見出した。<i>In vivo</i> では高濃度単独投与にて生存期間の延長を認め、またフルコナゾールとの併用にて組織内菌数の減少が見られ、併用療法の有用性を見出している。今後のカンジダ症治療法開発研究への発展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は病原真菌学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			